

平成27年度予算要求の基本方針について

1 財政収支の見通し・予算要求の基本方針

本県財政は、歳入面では、一般財源総額の大幅増が見込めず、県債発行の抑制も必要なため、歳入総額の伸びは期待できないこと、歳出面では、社会保障関係費の増加に加え、退職手当費が高止まりとなることから、平成27年度及び平成28年度の2年間で、320億円もの歳入不足が見込まれている。

また、来年10月に予定されている消費税率引き上げに伴う地方財政への影響も、社会保障関係費に係る地方負担分が明確でないこと、地方交付税や臨時財政対策債など一般財源総額が変動する可能性があることから、現時点で不透明な状況である。

こうした極めて厳しい財政状況が続いていることを十分認識のうえ、以下に掲げる方針を基本として予算編成することとする。

- (1) 着実に復旧・復興を成し遂げ、防災体制を強化すること。なお、その際には国庫補助制度や財政措置のある県債など有利な財源を最大限活用すること。
- (2) 県総合計画に掲げる、目指すべきいばらきの姿である「産業大県・生活大県」の実現のため、重要性が高く、分野横断的な施策群について、重点的に推進すること。
- (3) 持続可能で健全な財政構造の確立のため、全ての事務事業についてゼロベースの視点に立ちスクラップ・アンド・ビルドにより施策の重点化を行うなどの歳出改革、様々な手段による歳入確保により、第6次行財政改革大綱に掲げる財政健全化に向けた諸方策に一層徹底して取り組むこと。

2 平成27年度要求限度額設定方針等（東日本大震災関連事業分は別枠確保）

(1) 義務的経費及びこれに準ずる経費 … 所要額

(2) 一般行政費、公共以外の投資的経費

① 特に政策判断を要する経費等	± 0%	} 平均で △ 6%
② 指定管理委託料、電算システム維持経費等	△ 3%	
③ 法令等の施行経費等	△ 8%	
④ その他の政策的経費	△ 10%	

(3) 公共事業費（国補・県単） … 建設△10%、維持 ±0%（全体で△8%）

(4) 重要政策等特別枠 … 一般行政費、公共事業費のシーリング後一般財源額の10%
 （対象政策課題例）
 ・人口減少対策 ・国際化施策 ・女性躍進施策
 ・県北振興 ・その他部局課題

(5) 歳入創出・歳出改革推進特別枠 … 行革効果が見込まれる場合の一時経費等
 行財政改革推進の観点から、歳入創出・歳出改革の効果が高いと期待できる事業について、一時的な財政負担等を要求枠に加算。

(6) アイディアオリンピック等特別枠 … 所要額
 アイディアオリンピックにおける優れた提案等のうち、施策化の必要が高いと期待できる事業について、所要額を要求枠に加算。

(7) 事務事業再構築特別枠 … 廃止事業相当額（新規事業のみ）
 施策の選択と集中を促し新たな課題へ取り組むため、事業のスクラップアンドビルドに応じた所要額を要求枠に加算。（廃止2本新規1本の場合、廃止事業相当額）

(8) 節約奨励システム枠 … 平成26年度の創意工夫による節約相当額

3 留意事項

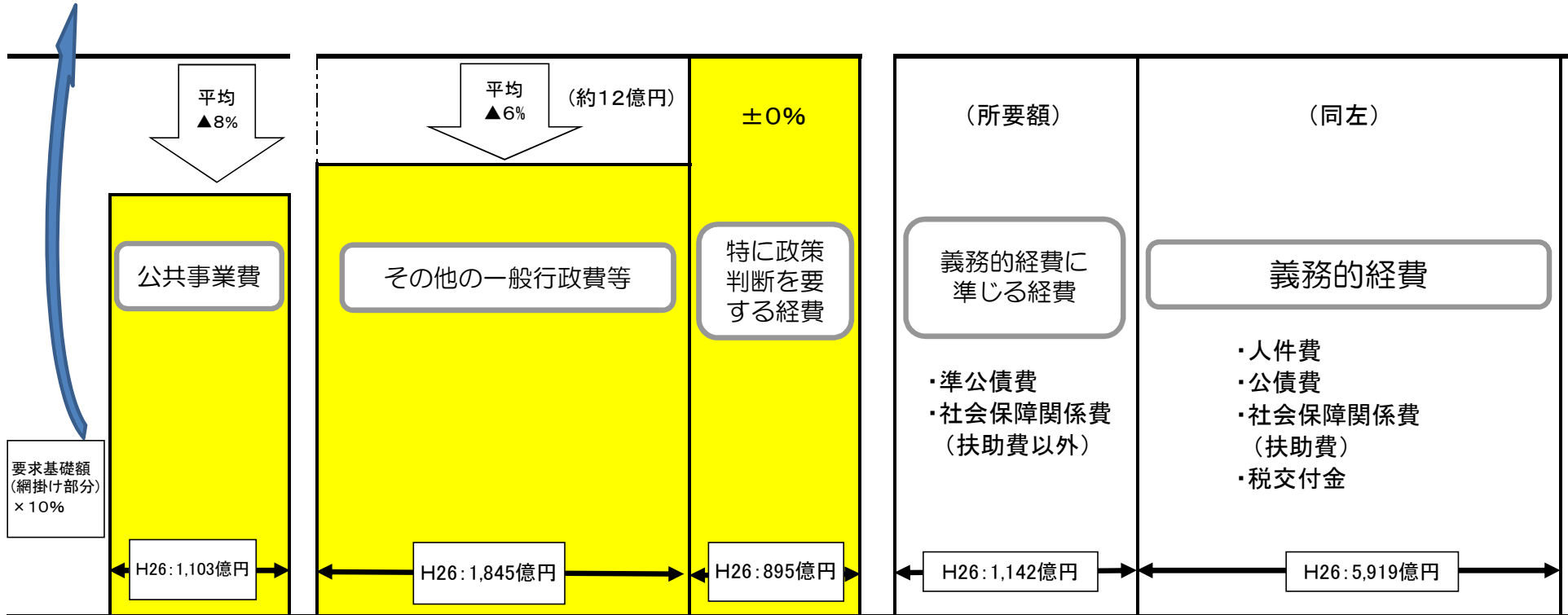
- (1) 各課・各グループごとにシーリングをそのまま適用するなど硬直的な予算要求とせず、部局長・課室長の主導で、横断的に抜本的な事務事業の見直しを行うこと。
- (2) 限られた財源・人員で、的確に政策目的を達成するため、業務の簡素化、無駄の排除、手順の合理化等に徹底的に取り組むこと。
- (3) 部局間の連携を密にし、県総合計画における施策展開の基本方向や、「生活大県プロジェクト」に位置づけられた施策群との整合を図ること。

平成27年度一般会計予算要求の考え方

東日本大震災関連事業

再構築枠

重要政策等特別枠 要求枠(公共含み): 要求基礎額 × 10%



◆シーリングの考え方

- ・ 一般行政費等(一般財源ベース) 平均 ▲8%
 - ・ 公共事業費(歳出ベース) 平均 ▲6%
 - ・ 特に政策判断を要する経費 ±0%
 - ・ その他の一般行政費 平均 ▲6%
- [建設系 ▲10%, 維持系 ±0%]

◎重要政策等特別枠 要求枠(公共含み) : 要求基礎額(網掛け部分) × 10%

◆要求特別枠「重要政策等特別枠」

- ・ 人口減少対策
- ・ 国際化施策
- ・ 女性躍進施策
- ・ 県北振興
- ・ その他部局課題